

もも管理特報 No.7

令和2年9月1日
みな穂もも振興会
みな穂農業協同組合
新川農林振興センター

○9月上旬～11月 ももの作業チェック表

作業内容	作業のポイント	実施適期	実施予定日 (自己記入)	実施日 (自己記入)
防除	<灰星病対策> ・樹上に残った灰星病の罹病果は、越冬し翌年の感染源となるので枝ごと切除し、園地外で処分する。 <せん孔細菌病対策> ・ムッシュボルドーDFの散布は、2週間間隔を念頭に必ず実施する。	1. 病害虫防除参照		
秋季せん定	・若木、樹勢の強い樹を中心に実施する。 ・樹勢に合わせたせん定を行う（過度な秋季せん定は樹勢を低下させる）。特にせん孔細菌病等で葉の少ない樹は徒長枝の切除等、最低限の実施にとどめ、葉数確保に努める。	2. 秋季せん定参照		
施肥	・樹齢、樹勢に合わせた施肥を実施する。	3. 施肥参照		

1. 病害虫防除

<発生状況>

- ・せん孔細菌病の発生は、梅雨期間中に増加し一部多発したが、全体として**中発生**。
- ・灰星病、ホモプシス腐敗病の罹病果実の発生は、平年に比べ**やや多かった**。
- ・ハダニ類は、8月中旬頃の高湿乾燥で急増、**一部園地で多発生**。
- ・ナシヒメシンクイによる新梢先端の芯折れは、8月下旬頃から確認され、平年並み。
- ・果樹カメムシ類やヤガ類による果実の吸汁被害は、**平年よりも多かった**。

<防除のポイント>

1)せん孔細菌病対策

- ・ムッシュボルドーDFによる防除は、越冬細菌量を少なくする上で重要な防除なので必ず実施する。
- ・**台風の接近等により雨を伴った強風が予想される場合、必ず事前にムッシュボルドーDFを散布する。**

2)ハダニ類対策

- ・今後も気温の高い日が続くと予報されていることから、発生が見られる場合、早めに、**スターナイトフロアブル（2,000倍、収穫前日まで、1回）を単用散布する。**

<結実樹対象>

回数	散布時期	対象病害虫	薬剤名と希釈倍率		100㎡当たり薬剤量	散布量(㎡/10a)	防除実施日(自己記入)
14	9月上旬頃	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1,000g	400	
15	9月中下旬頃 (前回防除の2週間後)	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1,000g	400	
16	10月上旬頃 (前回防除の2週間後)	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1,000g	400	

<未結実樹対象>

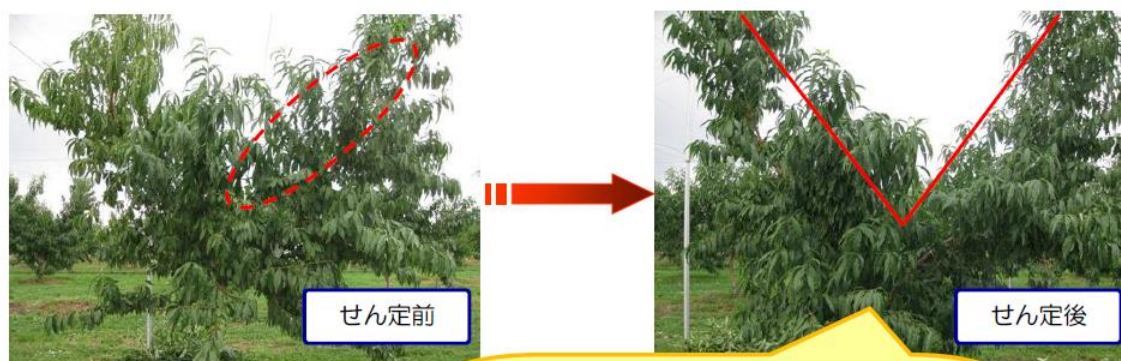
回数	散布時期	対象病害虫	薬剤名と希釈倍率		100㎡当たり薬剤量	散布量(㎡/10a)	防除実施日(自己記入)
10	9月上旬頃	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1,000g	100 ~200	
11	9月中下旬頃 (前回防除の2週間後)	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1,000g	100 ~200	

- 農薬散布にあたっては、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないように十分注意してください！
- 園の近くに民家がある場合等は、散布日時を連絡するなどの配慮にも努めてください。

2. 秋季せん定

- ・ 9月中旬頃までに実施する。
※ せん孔細菌病の発生の多い園では、ムッシュボルドーDF 散布前に実施し、防除効果を高める
- ・ 若木では、長大な枝や、直上枝、地際から発生した枝等を切除し、樹形確立や翌年の花芽形成を促す。
- ・ 樹勢の弱い樹やせん孔細菌病等で葉数が少ない樹では、過度なせん定は控え、葉数を確保し樹勢の維持に努める。
- ・ 過度なせん定は樹勢の低下を招くため、せん定量は最大でも年間せん定量の30%までとする。
- ・ 切除の際は、翌年以降の結果枝確保のため、基部付近の芽や副梢を残す。
- ・ 大きめの切り口には、トップジン M ペースト等の保護殺菌剤を必ず塗布する。

樹形を乱す強勢な枝を中心に切除し、同時に樹冠内部に光が到達しやすくなるよう直上した枝も切除する。



○側面の様子

- ・せん定後、側面からの外見がV字になるようにします。

3. 施肥

- ・ 礼肥、基肥ともに、樹齢や樹勢、本年の結実状況等により調節する。
- ・ 苦土石灰は基肥施用の14日以上前に散布する（基肥の肥効低下防止）。

【施用量の目安】

目的	施用時期	肥料名	樹齢等	施用量 10a当たり	成分量kg/10a		
					N	P	K
礼肥	収穫終了後 (9月上旬頃まで)	硫安	成木(6年生~)	20kg	4.2		
			若木(3~5年生)	10kg	2.1		
			幼木(1~2年生)	-	-		
土壌改良	10月 ~11月	苦土石灰	共通	100kg			
		堆肥		2t			
基肥	10月 ~11月	BM有機 果樹専用	成木(6年生~)	120kg	9.6	8.4	8.4
			若木(3~5年生)	60kg	4.8	4.2	4.2
			幼木(1~2年生)	40kg	3.2	2.8	2.8

※幼木は樹冠周囲、若~成木は表層に全面散布する